

東京を代表する大型デザインイベント 今年のテーマは「FUSION」
「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2019」
 ～ミッドタウン・ガーデン全体が「デザインの森」に～
 オーデマ ピゲによるパビリオンも登場
 2019年10月18日(金)～11月4日(月・振休)

東京ミッドタウン(港区赤坂 / 事業者代表 三井不動産株式会社)は、秋のデザインイベント「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2019」(東京ミッドタウン デザインタッチ)を、10月18日(金)から11月4日(月・振休)まで開催いたします。



▲六本木カラー溪谷 (イメージ)



▲時計以上の何か (イメージ)

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」は、“デザインを五感で楽しむ”をコンセプトに13回目の開催を迎えます。今年のテーマは「FUSION(融合)」。社会が複雑化する中で、一個人、一企業だけでは、イノベーションを創出することが難しい現代に、デザインが空間やテクノロジー、アートなどの異分野と融合することで、新たな価値を提供します。

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2019」主なイベント

東京ミッドタウンの自主イベント

《 デザインの森 》

- 【見る】** 「六本木カラー溪谷」 ミッドタウン・ガーデンに色鮮やかな溪谷が出現
- 【遊ぶ】** 「デザインのひろば」 著名デザイナーによるカラフルなデザイン遊具が登場
- 【創る】** 「森の学校」 六本木未来会議が開催するデザイナーやアーティストによる青空教室
- 【考える】** 新作(タイトル未定) 脇田玲によるインスタレーションを展開

【企業出展】 芝生広場では、スイスの高級時計ブランド「オーデマ ピゲ」のパビリオンが登場！
 《 時計以上の何か 》

テーマ別に分かれた12の部屋を擁する巨大なパビリオンが芝生広場に登場
 気鋭のアーティスト池田亮司によるインスタレーションも

■掲載時の一般の方のお問い合わせ先■ 東京ミッドタウン・コールセンター TEL : 03-3475-3100
 ■東京ミッドタウンホームページ■ www.tokyo-midtown.com

デザインの森

「デザインを五感で楽しむ」をコンセプトに毎年開催している「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」。

今年はメインイベント「デザインの森」がミッドタウン・ガーデンに登場します。様々な視点で「デザイン」に触れていただけるイベントです。

「六本木カラー溪谷」

今春のミラノデザインウィークでも話題となったクリエイター“SPREAD”による作品。「色景に浸る」をコンセプトに、鮮やかに彩られるダイナミックなインスタレーションが、約 80m の距離にわたり、ミッドタウン・ガーデンに登場します。

ミッドタウン・ガーデンは、「自然や地形の変化」をイメージし、山頂から森、そして緑の芝生へと続くランドスケープデザインを施しています。このガーデンのコンセプトにインスパイアされた本作は、全長約 1km のメッシュ素材のファブリックを使用し、ガーデンを覆います。昼・夜異なる表情を見せるエネルギー溢れるカラーの溪谷で、自然とデザインの融合をお楽しみください。

【期 間】 10月18日(金)～11月4日(月・振休)

※荒天中止

【場 所】 ミッドタウン・ガーデン

【主 催】 東京ミッドタウン

【制 作】 SPREAD



(イメージ)



(イメージ)

制作はミラノデザインウィークでも注目を浴びたクリエイティブ・ユニット

【SPREAD コメント】

「人は、色の奥にあるコントラストに魅了されている」。

本作のインスピレーションは、土地の記憶と、色と地平の美しさから得ています。

東京ミッドタウンの土地の歴史とランドスケープデザインを見つめ、SPREAD が注目してきた広がる色の光景を掛け合わせ、水景ラインに沿う色の溪谷が立ち現れます。

風になびく、鮮やかな色の重なりは、場と人の何時かの活動の記憶です。

大小様々な突起とうねりは、波だった水面や連なる山並みを連想させるでしょう。

私たちが普段漠然と眺め愛しむその景色には何が存在するのか？

家族と、ペットと、自分自身と…この道を通りながら、視覚から美しさを体感していただきたいと考えます。人体を大きく包みこむ色の地平に浸って、この場所との対話を楽しんでいただきたいです。



SPREAD (スプレッド)

山田春奈と小林弘和によるクリエイティブ・ユニット。環境・生物・物・時間・歴史・色・文字、あらゆる記憶を取り入れ「SPREAD＝広げる」クリエイティブを行う。プロジェクトに深く関わりながら、「カラーとコンセプト」を特徴にグラフィック、プロダクト、エキシビションなどのデザイン&ディレクションを行う。常に社会提案を心がけている。

「デザインのひろば」

プロダクトデザイナーの深澤直人やインテリアデザイナーの五十嵐久枝がデザインし、グッドデザイン賞を受賞した遊具が登場。より良い子どものあそび環境を考える「PLAY DESIGN LAB」による5種類の遊具が並びます。普段の公園とはちょっと違う遊具に、実際に触れて体験していただけます。

- 【期 間】 10月18日(金)～11月4日(月・振休)
- 【対象年齢】 1～6歳
- 【場 所】 ミッドタウン・ガーデン
- 【主 催】 東京ミッドタウン
- 【協 力】 株式会社ジャクエツ



▲OMOCHI



▲Seed

六本木未来会議アイデア実現プロジェクト「森の学校」

ウェブマガジン「六本木未来会議」のアイデア実現プロジェクト「森の学校」が特別開校。異なるジャンルのトップクリエイターが青空のもとで特別授業を行います。自然の香りや木漏れ日に包まれながら、感性を直接刺激してくれる貴重な体験です。

- 【期 間】 10月19日(土)～10月20日(日)
 - 【時 間】 11:00～17:00
 - 【場 所】 ミッドタウン・ガーデン
 - 【主 催】 六本木未来会議
 - 【講 師】 中川周士(木工職人)ほか
 - 【予約サイト】 Peatix から事前申し込み
- ※各授業の最新情報や申し込みについては9月上旬から公式サイトで順次発表いたします



▲過去の開催の様子

新作(タイトル未定)

大学で教鞭をとる傍ら、さまざまな企業とのコラボレーションや世界的なアートフェスティバルで作品を披露した脇田玲がインスタレーションを実施。今年2月に開催された東京ミッドタウン×アルスエレクトロニカ「未来の学校祭」での「虚構大学」のパフォーマンスに引き続き、注目の作品が登場します。

- 【期 間】 10月18日(金)～11月4日(月・振休)
- 【場 所】 ミッドタウン・ガーデン
- 【主 催】 東京ミッドタウン
- 【制 作】 脇田玲

脇田玲 (わきた あきら) アーティスト、サイエンティスト、慶應義塾大学環境情報学部教授。流体力学や熱力学に基づく独自ソフトウェアを開発し、科学と美術を横断する映像表現に注力。アート&サイエンスをキーワードにコラボレーションを展開。2016年に開始した音楽家小室哲哉とのオーディオ・ビジュアル・プロジェクトではArs Electronica Festivalでの8K展示、MUTEK/Red Bull Music Festivalでのライブ・パフォーマンスが話題を集めた。



<企業出展>

毎年企業出展も見どころとなる「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」。その一部をご紹介します。今年は初めて、芝生広場でも企業展示を行います。東京ミッドタウンの様々な場所でデザインに触れていただけます。

オーデマ ピゲ「時計以上の何か」

スイスの高級時計ブランド「Audemars Piguet(オーデマ ピゲ)」による世界巡回展「時計以上の何か」。広大な東京ミッドタウンの芝生広場に 30m × 45m の大きなパビリオンが登場します。



▲巨大なリング状のパビリオン (イメージ)



▲オーデマ ピゲの創業の地で本社があるスイスのル・ブラッシュを再現(イメージ)

パビリオン内は時計をイメージして「12」のテーマ別に部屋が分かれ、ムーブメントやダイヤルの装飾の実演、時計の分解や組み立てなど、スイスから来日した時計師によるデモンストレーションをご覧ください。

また、中ではオーデマ ピゲミュージアムの收藏品から厳選された、歴史的に価値のあるヴィンテージウォッチから現行モデルまで約 200 点が展示され、これらのピースを通して 1875 年創業以来のオーデマ ピゲのストーリーが語られます。

- 【期 間】 10月19日(土)～11月4日(月・振休)
- 【場 所】 芝生広場
- 【主 催】 Audemars Piguet (オーデマ ピゲ)

リングの外側では、今年からオーデマ ピゲがサポートしている電子音楽とビジュアルを融合させた気鋭のアーティスト池田亮司氏の作品が映し出されます。本作品は「data-verse」三部作のうちの 2 作品目で、時計作りの精緻さと、オーデマ ピゲの「型破り」を体現しています。



(イメージ)

池田亮司

気鋭の電子音楽作曲家、ビジュアルアーティスト。数学的な精度や美学を用いて音や光の本質的特性を追求する。音や画像、素材、物理や数学などを操り、概念を超えた極限や無限を深く探求し、人間の持つ感覚やデジタル技術の限界に挑んでいる。

オーデマ ピゲについて

1875年創業・今なお創業者一族(オーデマ家、ピゲ家)によって経営される最も歴史ある高級時計ブランド。スイス・ジュラ山脈に抱かれたジュウ溪谷で、時計学の粋を極めた数々の厳選されたマスターピースを制作。ウォッチメイキングにおけるもっとも重要なイノベーションのひとつとして、広く知られている。
www.audemarspiguet.com/ja

大広 Product Lab. 「Hanzoo!」

驚き、感動、行動を喚起するような新しい切り口・アイデアで“Product × Act”を創造するチームが開発したプロダクトの展示。手を守る・温めるという手袋の機能的価値に、触れ合う楽しさという情緒的価値を融合。親子のコミュニケーションツールとしてリデザインしました。

- 【期 間】 10月18日(金)～11月4日(月・振休)
- 【場 所】 ガレリア館内
- 【主 催】 株式会社大広 Product Lab.



DESIGN TOUCH CONFERENCE

「FUSION」をテーマに、デザインの可能性についてディスカッションします。今回のデザインタッチで六本木カラー
渋谷を制作する SPREAD×クリエイティブ・ディレクターの山田遊、『HELLO,DESIGN 日本人とデザイン』
(NewsPicks×幻冬舎 / NewsPicks Book)の著者である石川俊祐など各分野のトップランナーが集います。

- 【期 間】** 10月25日(金)～10月27日(日)
【場 所】 東京ミッドタウン・カンファレンス Room9
【主 催】 東京ミッドタウン・デザイン部



TOKYO MIDTOWN AWARD 2019 受賞作品発表・展示

東京ミッドタウンのコンセプトでもある「“JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)”を創造・結集し、世界
に発信し続ける街」を目指す活動の一環として始まった、今年で12回目を迎える「TOKYO MIDTOWN AWARD」。

次世代を担うデザイナーやアーティストの発掘と応援、その先のコラボレーション
を目的に、2019年もデザインコンペ、アートコンペの2部門で作品を募集しました。
全応募作品の中から計16作品を選出し「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2019」
期間中に、受賞作品の発表・展示および授賞式を実施します。



■ TOKYO MIDTOWN AWARD 2019 受賞作品発表

- 【日 時】** 10月18日(金)
※審査結果は公式サイト等を通じて発表します

■ TOKYO MIDTOWN AWARD 2019 授賞式

- 【日 時】** 10月18日(金) 16:30～17:30(予定)
【場 所】 プラザB1「意心帰」前 特設会場
※一般の方の見学可能です

■ 作品展示

- 【期 間】** 10月18日(金)～11月10日(日)
【場 所】 プラザB1
【展 示 作 品】 TOKYO MIDTOWN AWARD 2019 受賞及びファイナリスト作品(16点)
※期間中は一般投票で人気作品を選出する「オーディエンス賞」も実施します
※デザインコンペの受賞作品は展示終了後も約1年間、東京ミッドタウン館内に展示します



▲昨年の展示の様子

Salone in Roppongi vol.7 2019

イタリア・ミラノで毎年開催される世界最大のデザインイベント「ミラノ・サローネ」の賑わいを六本木に！を合言
葉に展開している Salone in Roppongi。世界で注目を集め活躍する日本人クリエイターとデザインでコミュニケー
ションします。7回目となる2019年も、ミラノで活躍したクリエイターに注目して、本場さながらのインスタレーショ
ンを展示します。

- 【期 間】** 10月18日(金)～11月4日(月・振休)
【場 所】 ガレリア館内
【主 催】 Salone in Roppongi 実行委員会



<同時開催> デザインイベント

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」開催中はデザインに触れられるイベントが同時多発的に東京ミッドタウンに集合します。デザインについてビギナーからエキスパートまで、幅広く楽しんでいただけます。

GOOD DESIGN EXHIBITION 2019 ～2019 年度グッドデザイン賞受賞展～

GOOD DESIGN EXHIBITION 2019 は、「これを見れば今年のデザインのトレンドがわかる」国内最大級のデザインイベントです。東京ミッドタウンの各所で最新の 2019 年度グッドデザイン賞受賞作品 1,000 件以上をすべて紹介するほか、国内外の受賞デザイナーや審査委員によるトークイベントやセミナー、ワークショップなどが開催されます。

また好評企画の「グッドデザインストア」のポップアップショップを今年も開催。お気に入りのグッドデザインを買うことができます。さらに 21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー3 では、ロングセラーデザインに贈られる「ロングライフデザイン賞」の展示も同時開催。暮らしに身近なグッドデザインを、どなたでも気軽にお楽しみいただける 5 日間です。



GOOD DESIGN
EXHIBITION 2019

- 【期 間】** 10月31日(木)～11月4日(月・振休)
【場 所】 東京ミッドタウン・ホール、アトリウム、
キャンピースクエア、
東京ミッドタウン・カンファレンス、
デザインハブ、
21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー3
【時 間】 11:00～20:00 ※最終日は 18 時まで
※「ロングライフデザイン賞」展示は 10:00～19:00
【料 金】 無料
【主 催】 公益財団法人日本デザイン振興会



▲昨年の会場の様子

21_21 DESIGN SIGHT 企画展 「虫展 —デザインのお手本—」

自然を映し出す存在である、虫。私たちの身近にしながら、実はそのほとんどの生態はわかっていません。虫の色、質感、構造、また習性には、私たちの想像をはるかに超える未知の世界が広がっています。人類よりもずっと長い歴史のなかで進化を続けてきた多様な虫の姿からは、さまざまな創造の可能性が浮かび上がってきます。本展覧会は、知れば知るほど不思議な虫たちを「デザインのお手本」にする試みです。展覧会ディレクターにはグラフィックデザイナーの佐藤卓、企画監修には虫好きとしても知られる解剖学者の養老孟司を迎えます。

- 【期 間】** 7月19日(金)～11月4日(月・振休) (10/22をのぞく火曜休館)
【場 所】 21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー1&2
【時 間】 10:00～19:00 (入場は 18:30 まで)
【料 金】 一般 1,200 円、大学生 800 円、高校生 500 円、中学生以下無料
【主 催】 21_21 DESIGN SIGHT、
公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団



＜同時開催＞ アートイベント

「アートの街 六本木」の東京ミッドタウンには日本美術を中心に発信するサントリー美術館、多彩な写真展を開催するFUJIFILM SQUARE もございます。芸術の秋に、デザインイベントとともに楽しみください。

サントリー美術館「黄瀬戸・瀬戸黒・志野・織部 ー美濃の茶陶」

桃山時代には、茶の湯のためのやきもの「茶陶」が日本各地の窯で創造されました。岐阜県的美濃（東濃地域）では、力強い姿、鮮やかな色、斬新な意匠をもつ茶陶「黄瀬戸・瀬戸黒・志野・織部」が大量に焼かれ、おおいに流行しました。本展覧会では、個性的で生き生きとした美濃焼の造形の魅力をお楽しみいただくと同時に、近代以降の美濃焼の人気や評価の高まりを感じていただけます。

- 【期 間】** 9月4日(水)～11月10日(日) (11/5をのぞく火曜休館)
【場 所】 サントリー美術館 ガレリア 3F
【時 間】 10:00～18:00 (入場は閉館の30分前まで)
※金・土・9/15(日)、9/22(日)、10/13(日)、
11/3(日・祝)は20:00まで
【料 金】 一般 1,300円、大学・高校生 1,000円、中学生以下無料
<前売> 一般 1,100円、大学・高校生 800円
【主 催】 サントリー美術館、読売新聞社



織部洲浜形手鉢 桃山時代 17世紀
サントリー美術館

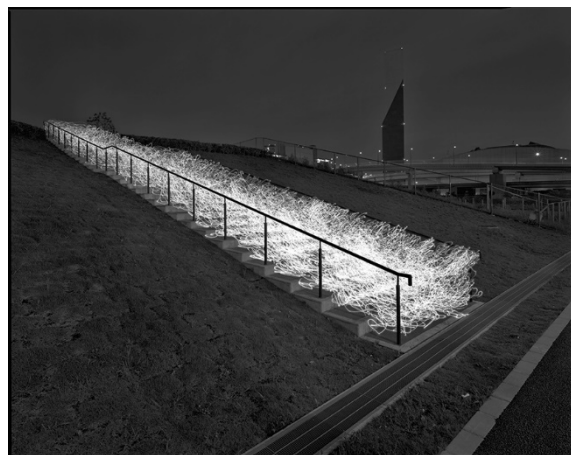
FUJIFILM SQUARE 企画写真展「覚醒する写真たち」今 道子 + 佐藤時啓

異色の写真家と呼ばれた二人のアーティストによる表現は、限りなくアートに近い写真作品でありながら、反比例するように写真の原理や本質に近づいていきます。独自の方法で写真の真髄を精製していく創作行為は、まさに「写真の錬金術」といべきものです。デジタル写真が圧倒的な位置を占め、写真表現がますます複雑化、多様化している今日、二人の写真作品から「写真とは何か」を再考する試みです。

- 【期 間】** 9月1日(日)～12月27日(金) (会期中無休)
Part1 今 道子「蘇生するものたち」9月1日(日)～10月29日(火)
Part2 佐藤時啓「呼吸する光たち」10月30日(水)～12月27日(金)
【場 所】 FUJIFILM SQUARE 写真歴史博物館 ミッドタウン・ウエスト 1F
【時 間】 10:00～19:00 (入場は18:50まで)
【料 金】 無料
【主 催】 富士フイルム株式会社



Part1 今 道子「蘇生するものたち」
《タコ+メロン》1989年
写真:今 道子 ©Michiko Kon, Courtesy of PGI



Part2 佐藤時啓「呼吸する光たち」
《#275 Koto-ku Aomi》1996年 シリーズ〈光一呼吸〉より
写真:佐藤時啓 ©Tokihiro Sato